

格式高い神社・式内社が8社集まる真庭市社地区で31日夜から1月1日未明にかけて、竹灯籠でライトアップする「やしろ竹あかり」が開かれる。

柄をデザインしたり、絵



2 崙に切った竹筒を使っ
た灯籠約400個を設
置。2 崙ほどの丸い穴を
無数に開けて三日月や花

竹灯籠400個設置

31日から真庭・社地区

の具で赤や黄色に塗ったりした竹筒を、内側からキャンドルとLED（発光ダイオード）で照らす。

住民有志らでつくる社地域振興協議会が主催し、地元の園児や小中学生のほか、県立大デザイン学部と岡山商科大の学生有志が協力している。

協議会の樋口基広会長（69）は「今年は学生たちのデザイン性に優れた灯籠が多い。帰省客や観光客に大勢来てほしいと話している。点灯時間は午後10時～翌午前1時。竹あかりは2016年から毎年開かれている。

（中村啄也）

年越しに向け、県社で設置が進められている竹灯籠

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。